

# 「キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会」第1回

## 議事概要

日時:令和2年6月10日(水曜日)13時00分～15時00分

場所:オンライン会議(一部の委員は、経済産業省本館17階第5共用会議室)

出席者:

藤原座長、赤松委員、井尾委員、梅澤委員、加藤委員、川田委員、河野委員、シプリー委員、  
祖山委員、林委員、淵田委員、柳瀬委員、吉村委員、渡邊委員、渡辺委員

議題:

1. ポイント還元事業により、キャッシュレス決済市場に生じた変化
2. キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた課題
3. キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた方策

議事要旨:

事務局及びゲストスピーカーより発表後、各委員から意見表明を行った。

決済サービスの提供側の委員からの主なコメントは、下記のとおり。

- ポイント還元事業はキャッシュレスの裾野の広がりに効果があったが、更なるキャッシュレス促進のためには、加盟店側だけでなく、消費者側をも含めた総合的な議論が必要。
- ポイント還元事業は、キャッシュレス市場拡大に大きく貢献。加盟店に対しては、衛生面や効率面などを定量的に公に示すことで、キャッシュレスが現金と比べどれだけメリットがあるかを理解してもらうことが重要。手数料等の開示に当たっては、事業者のプランを比較可能な形で開示することが必要。
- 手数料の開示とセットで、キャッシュレスのメリットを店舗に意識してもらうことが重要。クレジットカードや電子マネーなど、決済手段ごとにコスト構造が全く違うため、両者のコスト構造を分解・比較することが必要。
- キャッシュレス決済環境について、諸外国に比べ日本は劣後。手数料や入金サイクルの低減、リアルタイムペイメントの実現に向け、貢献したい。

- 加盟店への入金を毎日すれば、銀行振込手数料だけで収益が失われる。手数料については、コスト構造全体を分析した上で、議論していくことが必要。
- ポイント還元事業は、官民協同で店舗と消費者によいインパクトを与えたものであり、海外でも例がない好取組であったと評価したい。

決済サービスの利用側の委員からの主なコメントは、下記のとおり。

- 中小店舗の利益率は2%台半ばで3%以上の手数料負担は重い。手数料、端末代金、入金までのタイムラグの「3つの壁」の解消が必要。手数料の見える化・引下げやタイムラグ解消に資する振込手数料引下げに加え、上限設定や小口決済システムも検討してはどうか。
- コロナ禍においてレジでの客との接触機会を最小限にする観点からキャッシュレスの導入は重要。他方、キャッシュレスにシフトすることで小売側は高い手数料や長い入金サイクルなどコストアップにつながる。より効率的な支払手段に向けた建設的な意見交換を期待している。
- ポイント還元事業の消費者の反応は良い。消費押し上げ効果などメリットを実感。他方、手数料や入金サイクルの問題があり、事業終了後もキャッシュレスを継続するインセンティブが低い。

その他の委員からの主なコメントは、下記のとおり。

- 情報開示の手法が重要。今回は、強制力を伴うハードローの形ではなく、健全な自主的競争環境を整備するという方向で、ソフトロー手法が望ましいのではないか。
- 手数料を単純に下げること、決済サービスのレベルが落ち、消費者が利用しなくなる状況になるのは避けるべき。単純なコスト競争になると、企業同士のマージが続き、特定のプレイヤーが大きくなりサービスが進化しない例がある。
- EU は規則でインター・チェンジ・フィーの上限規制を導入済みで、EU の規制事例が日本にすぐに適用できるとは限らないが、日本でも参照に値する。ただ、まずは決済システムのコスト構造の透明性確保が重要。日本で EU のようなハードローを今すぐに導入するのは難しいだろう。まずは事業者団体と協力しながら共同規制の方法を模索すべき。
- キャッシュレスがラグジュアリーだった時代から、インフラ、生活必需サービスになっている。コロナを受け、キャッシュレスを使わざるを得ない時代になっている。世界の40地域では、消費者が逃げるため、キャッシュレスを店舗側が受け入れざるを得ない状況になり、中小店舗への配慮が必要との観点から、インター・チェンジ・フィー規制が導入。
- 生活者の観点からは、キャッシュレスを使える店舗が増えて便利になった。手数料引下げを

検討することで、決済事業者や中小店舗に影響が生じ、消費者が決済サービスを使えなくなるようなことにならないよう、方策を打ち出していくことが必要。

- オブザーバーからの主なコメントは、下記のとおり。
- 目の前で何をすべきかの議論と、将来のキャッシュレス決済比率80%に向け何を指すかの両方の議論が必要。
- 店舗への情報開示の観点から、各決済事業者のプランを比較する一覧表があると、キャッシュレスの広がりにつながる。

以上